

Harmony



地方独立行政法人  
玉野医療センター

# 広報誌

玉野市民病院・玉野三井病院

第76号 2023年9月発行



- 新しい病院の名称が決まりました・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- 『もの忘れ』が気になる方 MRI検査受けてみませんか？・・・・・・・・3
- 医師紹介 玉野三井病院・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
- 医師紹介 玉野市民病院/新型コロナウイルス関連の報告・・・・・・・・5
- 回復期リハビリテーション病棟の取り組み 玉野市民病院リハビリ科・・・・6
- 学会発表報告 玉野市民病院リハビリ科/新病院建設の進捗状況・・・・7
- 写真紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8,9
- 玉野の歴史めぐり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
- 秋の味覚レシピ 玉野三井病院栄養科・・・・・・・・・・・・・・・・11
- 地域連携だより／編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
- 外来診療担当医表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・別途

# 新しい病院の名称が決まりました

地方独立行政法人

— 新病院名称 —

## 玉野医療センター たまの病院



### 「玉野に住む人」「玉野で働く人」「玉野で学ぶ人」「玉野へ来る人」 玉野に暮らす全ての人のための病院

令和7年1月に開院を予定しています地方独立行政法人玉野医療センターの新しい病院の名称が「たまの病院」に決まりました。

新しい病院の名称については、市民の方や玉野市にお勤めの方などを対象に公募したところ、約70件のご応募をいただきました。多くのご応募ありがとうございました。

ご応募いただいた中から、最終的な名称の決定については、玉野医療センター、玉野市、市内の各種団体の代表の方々をメンバーとする「新病院名称選考委員会」を開催し、選考を行いました。

現在運営している玉野市民病院、玉野三井病院それぞれの歴史を大切にしながら、玉野医療センターの基本理念や新しい病院の目指すべき医療を、ここ玉野の地で将来にわたって幅広く提供し続けるという思いを込めました。そして、誰にでもわかりやすく親しみやすい名称となるよう「たまの病院」と決定いたしました。

### 玉野医療センターの基本理念「玉野に暮らす命は、玉野の地で守ります」

新しい病院は「玉野に住む人」「玉野で働く人」「玉野で学ぶ人」「玉野に来る人」玉野に暮らす全ての人のための病院として、ここ玉野の地で、必要な医療を必要とする方々に将来にわたって提供する中核医療機関の役割を担い、玉野に暮らす命は、玉野の地で守るため、断らない医療の実践を目指してまいります。

### 玉野市民病院と玉野三井病院の歴史が融合する新しい病院

新しい病院は、現在玉野医療センターが運営している2つの病院、玉野に住む人（市民等）の病院としての「玉野市民病院」、玉野で働く人（三井造船等）の病院としての「玉野三井病院」が統合されます。2つの病院の持つ玉野の地に根ざした歴史ある「玉野」の名を継承しながら、幅広く玉野に暮らす全ての人々の安心を医療面から支えてまいります。

**玉野医療センター「たまの病院」は、玉野の地で、地域の医療・福祉・行政など関係機関と連携し、将来に向けて持続可能な地域医療の提供を目指してまいります。**

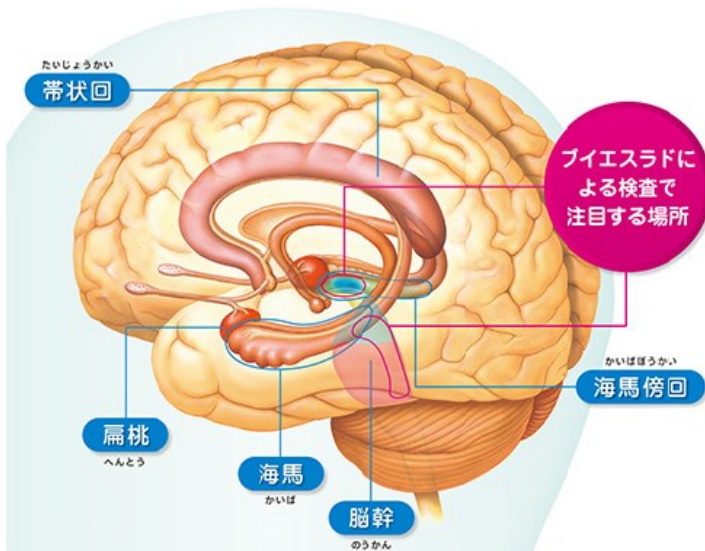


# 『もの忘れ』が気になる方 MRI検査受けてみませんか？

当センターでは、頭部MRI検査の中の一つとしてVSRAD (バイエスラド) という検査を行っています。VSRADとは、早期アルツハイマー型認知症の診断支援を行うためのシステムです。MRIで撮影した脳の画像データを元に、海馬傍回 (かいばぼうかい) と呼ばれる記憶に関する領域とその付近の萎縮の程度を調べます。

認知症は早期の段階で発見して原因を診断し、治療方針を立てることが重要とされています。気になる『もの忘れ』の症状がある方は、年齢のせいによらず、診察や検査を受けることを考えてみてはいかがでしょうか。

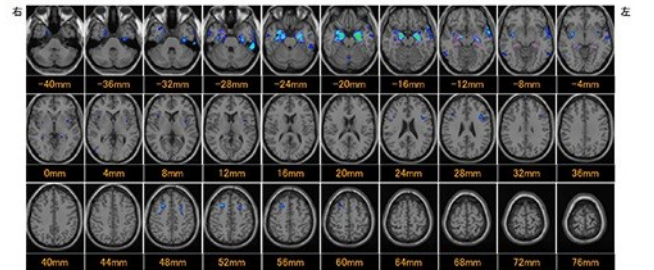
- 通常の頭部MRI検査にVSRAD用の検査が約5~10分追加されます。VSRAD単体の検査は行っておりません。
- VSRADの検査は50歳以上が対象となります
- VSRADの結果のみでアルツハイマー型認知症の診断をすることはできません。症状や経過、他の検査結果などと合わせて総合的に診断してもらうことが重要です。



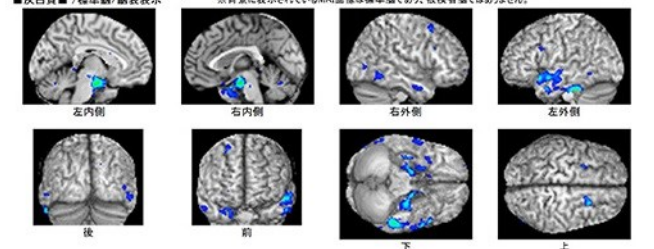
## バイエスラド アドバンス 解析結果レポート

患者ID: 名前:	検査日: 生年月日:	収集日: 年齢:	受付番号: 性別:	
2スコア解析結果 (自動算出)				
(1) VOI内萎縮度: Severity of VOI atrophy VOI内のスコアの平均値 【解説】関心領域内の萎縮の強さを表す指標です。 【参考】 0=1: 関心領域内の萎縮はほとんど見られない 1=2: 関心領域内の萎縮がやや認められる 2=3: 関心領域内の萎縮が顕著に認められる 3=4: 関心領域内の萎縮が強い	2.43	(3) VOI内萎縮領域の割合: Extent of VOI atrophy VOI内のスコア2の領域の割合 【解説】関心領域内の萎縮の強さを表す指標です。 【参考】 0=30: 萎縮している領域が多い 30=50: 萎縮している領域が適度 50=60: 萎縮している領域が多い	67.14%	
(2) 全脳萎縮領域の割合: Extent of GM atrophy 全脳内のスコア2の領域の割合 【解説】脳全体の萎縮の強さを表す指標です。 【参考】 10=30: 脳全体の萎縮が強い	2.14%	(4) 萎縮比 (VOI内/全脳): Ratio of VOI/GM atrophy 【解説】関心領域内の萎縮の強さを表す指標です。 【参考】 0=3: 萎縮があるとは言えない 3=10: 萎縮が顕著に認められる 10=15: 萎縮が強い	31.30	倍

※脳全体における萎縮の程度をご確認ください。2.0以上が有意に萎縮している領域です。(この色で囲まれた領域が関心領域です。)  
2.0 対照画像グループ GM 武蔵野院DB for VSRAD advance 対照画像 GM 54~60歳男女(100例)



※脳全体における萎縮の程度をご確認ください。2.0以上が有意に萎縮している領域です。  
2.0 対照画像グループ GM 武蔵野院DB for VSRAD advance 対照画像 GM 54~60歳男女(100例)



(診療放射線技師:大石 亮介)



地方独立行政法人玉野医療センター  
玉野三井病院 名誉院長  
三宅 三喜男(みやけ みきお)

## 趣味

好きなことは色々ありますが、趣味といえば、小学校のころから続けている蝶採集です。家では標本箱に囲まれて生活しています。そのため私の部屋は防虫剤の臭いが充満し、妻も入ってきません。最近、特に採集に関して感じることは、年齢的な衰えです。

動体視力と遠近感の衰えは最悪で、蝶をタモ(捕虫網)に捕らえたと思っても逃げられていることが多くなりました。また、山を登る際の四肢体幹の衰えも感じています。コロナ禍で、ここ3~4年採集には行っていませんが、全国各地での一期一会をいつも夢見しています。

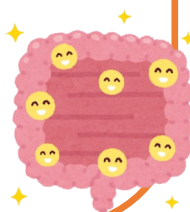


## 患者様へのメッセージ

三井病院に赴任して早や37年が経過しました。受け持った患者様も大半はお亡くなりになっていますが、まだ通院していただいている患者様も多く、大変有難いことだと思っております。

現在は、午前中の外科の外来診療を担当しています。午後は週1~2回三井E&Sの産業医をしています。若いころ、午後は様々な手術をしていましたが、ここ数年は外来の小手術のみにしております。

専門は消化器外科ですが、私のモットーとして、どんな訴えの患者様でも診療いたします。訴えをしっかりと聞かせていただいて、最良の診療科や治療が選べるように的確なアドバイスをしたいと思います。



## マイブーム

体力を維持するため、ここ数年、毎日10000歩を目指してウォーキングをしています。

山野を走り回るためには、もう少し負荷強度を強めたいのですが、年齢とともに体力気力の弱体化を感じるばかりです。



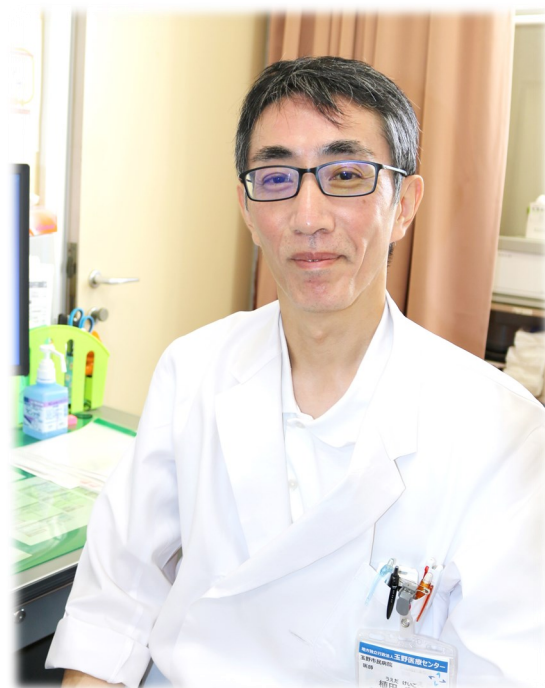


## 医師紹介 玉野市民病院

玉野市民病院で毎週火曜日に内科外来を担当しております植田圭吾と申します。玉野市と岡山大学総合内科学との連携で開講している岡山大学学術研究院の講座に所属しております。

以前は脳神経内科を専門としておりましたが、現在は総合内科・総合診療、漢方診療に軸足を置いております。地域医療の現場では様々な疾患への初期対応や専門施設への紹介、そして安定期の管理などが必要とされるため、総合内科・総合診療の視点が大切なことを日々感じております。患者さんには納得して治療を受けていただきたいため、できるだけ丁寧にこちらの考えをお話するよう心がけております。

早いもので、当院で診療させていただくようになって7年目になりました。熟練の先生方やスタッフの皆様を支えられて継続することができており、皆様に大変感謝しております。これからも地域の方々の健康に寄与できるよう努めて参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



地方独立行政法人玉野医療センター  
玉野市民病院 内科  
植田 圭吾(うえだ けいご)

岡山大学学術研究院医歯薬学域

岡山県南東部(玉野)総合診療医学講座 教授

## 新型コロナウイルス感染症関連の報告

まず、令和5年春に開始したワクチン接種数についての報告です。当センターでは、5月は508名、6月は1036名、7月は732名、合計2276名の方が接種をされています。

また、令和5年9月20日以降は、希望するすべての方(生後6ヶ月以上)を対象にオミクロン株(XBB.1.5)に対応した1価ワクチンの接種が始まっています。詳しくは市町村からの案内をご確認下さい。

新型コロナウイルス感染症の5類移行後(令和5年5月8日以降)の陽性率は、

5/8～5/31 23.4%

6/1～6/30 15.3%

7/1～7/31 29.3% 3ヶ月の平均は、22.4%

となっています。また、新型コロナウイルス感染症の検査数自体も増加しています。

特に、7月後半から陽性率が著明に上昇しており、8月、9月も増加傾向です。

皆さんも感染対策をしっかりと行いながら、気をつけて過ごしましょう。

# 回復期リハビリテーション病棟の取り組み

## — 自動車運転再開支援 —

玉野市民病院では、脳血管疾患（脳梗塞・脳出血、くも膜下出血）、脳外傷後等の方で、回復期リハビリテーション病棟入院中に、自動車運転再開を希望された場合、連携する玉野自動車教習所と協力し、自動車運転再開支援を行っています。



希望する方に対し、玉野自動車教習所にて、実車を使用した走行評価（※別途費用必要）を実施します。この評価にはご本人のみでなく、ご家族にも同行していただいております。実車での評価は、教習所内のみではなく、自宅周辺道路など、実際の生活場面でも行われ、左右の見落としや、ブレーキの遅れ等、教官から運転に関するフィードバックを受けることもできます（※教官の判断により屋外教習が行えない場合もあります）。また、教習には担当療法士が同行しますので、専門的な視点からアドバイスをしたり、教習後のリハビリテーション内容の検討など、フォローアップも行っています。

道路交通法では、「病気等の理由で正常な運転が出来ないおそれがある状態で車輛等を運転してはならない」とされており、脳の病気など運転に支障を及ぼす恐れのある「一定の病気」に該当する方が運転を再開したい場合は、免許センターでの適正相談を受けることが望ましいとされています。

自己判断で運転を再開することは危険が予測されます。玉野市民病院では、医療機関の立場から病気による運転への影響を評価し、運転再開への判断基準の一助としていただいております。現在、運転再開支援の対象は、病状の落ち着いた回復期リハビリテーション病棟入院中の方とさせていただきます。詳しいお問い合わせは、玉野市民病院リハビリテーション科作業療法部門までお願いいたします。



（玉野市民病院リハビリテーション科 作業療法部門）



# 学会発表報告 玉野市民病院リハビリテーション科

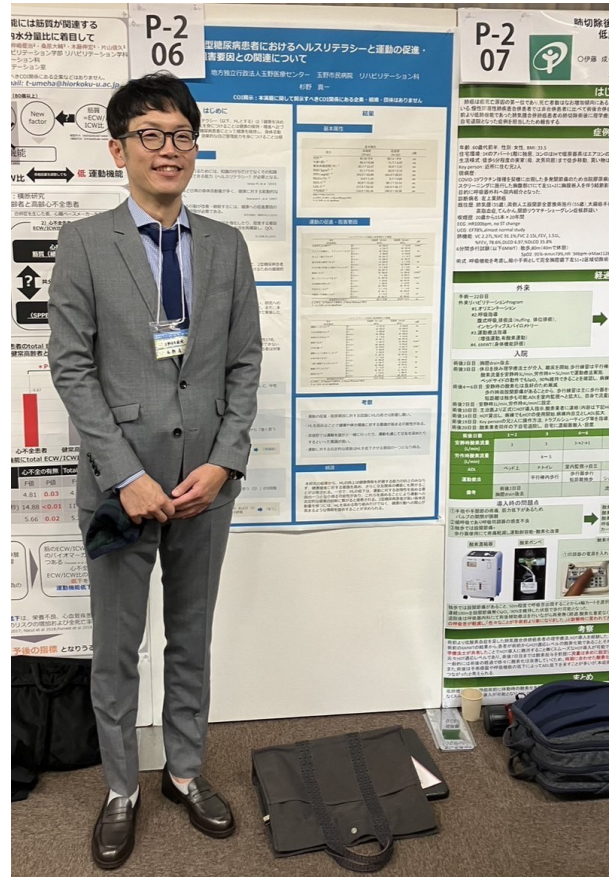
## ○第36回中国ブロック理学療法士学会で発表しました。

2023年9月2日(土)3日(日)に広島で開催された、第36回中国ブロック理学療法士学会に演題「2型糖尿病患者におけるヘルスリテラシーと運動習慣の促進・阻害要因との関連について」が採択され、ポスターセッションで発表する機会を与えて頂きました。

約4年ぶりの対面開催ということで会場は人で溢れ、それぞれのブロックでは活発な討論が交わされていました。大ホールで行われたパネルディスカッションでは、今後の理学療法士の「シンカ」のために求められる施策について、聴衆との間で熱い議論がなされました。

今回、私が参加させて頂いたポスターセッションでは、久しぶりに座長やオーディエンスと直接ディスカッションが行えたことに気持ちは高ぶり、制限時間ギリギリまで意見交換を行いました。また、自分の研究課題と関連する領域などから、今後の研究の進展に重要な意見を得ることができました。この学会で得られた知見を今後の臨床に活かし、患者さんにしっかりと還元していきたいです。この度、このような経験をする機会を与えて下さったことに深く感謝致します。

(理学療法士:杉野 真一)

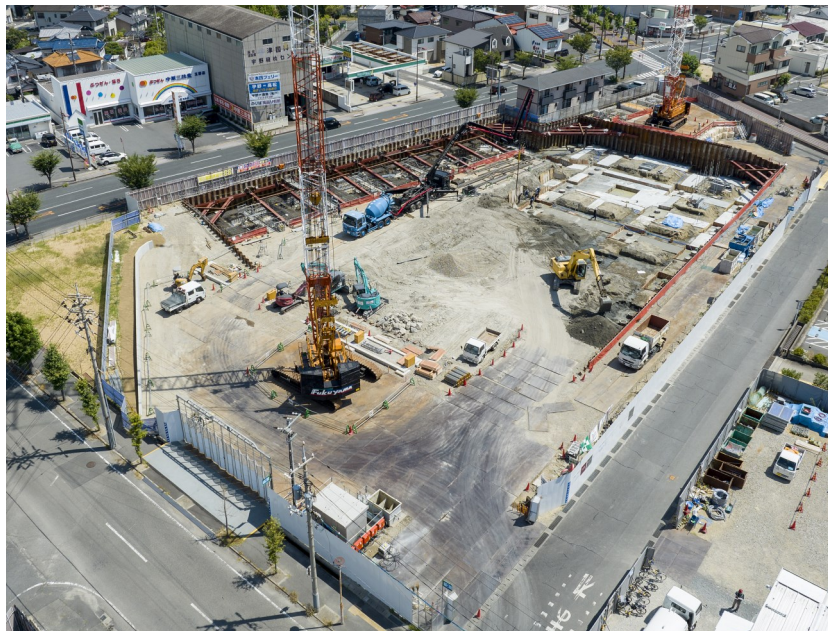


## 新病院建設の進捗状況

新病院建設の現状をお伝えします。令和4年7月に旧総合文化センターの解体工事が終了し現在は免震などの基礎工事を行っています。下の画像は工事業者の方より提供頂いたドローンで撮影した画像です。そして今年末いよいよ新病院の建設が始まります。開院予定は2025年(令和7年)1月となっておりますので新病院開院までもうしばらくお待ちください。



令和4年 7月 解体後



令和5年 7月 基礎工事中

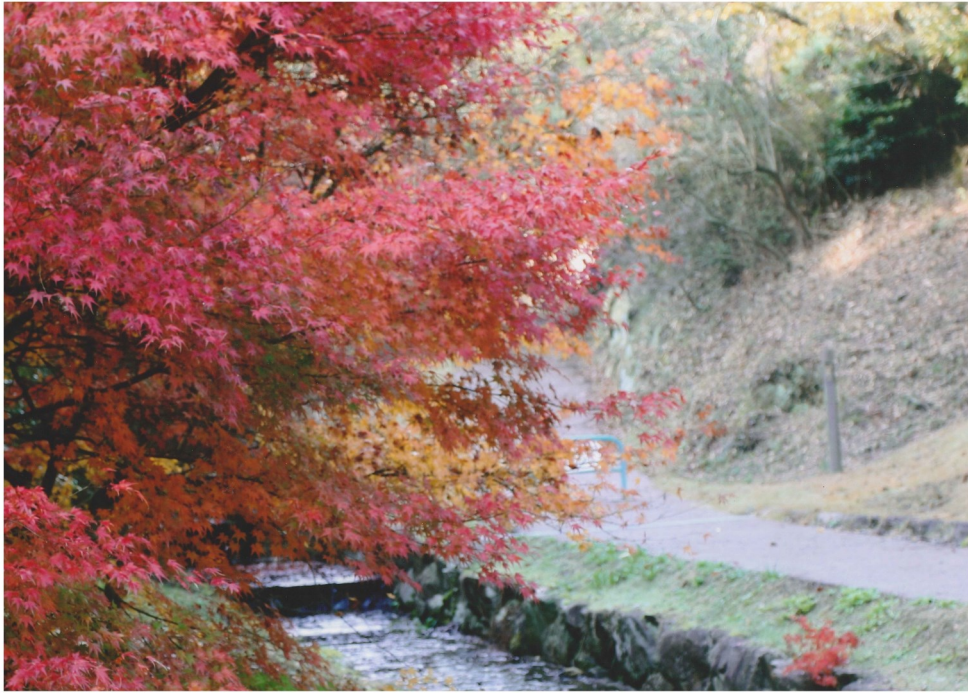
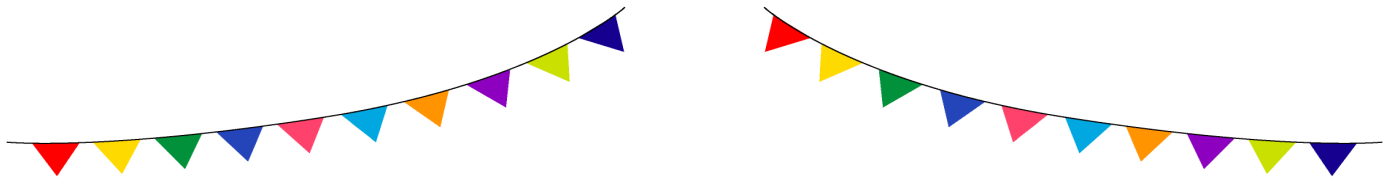


# ハーモニーアルバム

市民の皆さまから応募して頂いた写真を一部ですが、ご紹介いたします。







たくさんの作品を提供して頂き、ありがとうございます。引き続き、ご応募お待ちしております。



# 第6回 玉野の歴史めぐり ～山城探訪 下津井城跡～

周辺

## 城の概要

今回は倉敷市下津井にある下津井城跡を紹介します。この城跡は瀬戸大橋架橋記念公園の一部として散策路が整備され歩きやすい山城です。北側に広い駐車場があるので、車での来訪がおすすめです。本丸からは港町や瀬戸内海を一望でき、瀬戸大橋や塩飽諸島、讃岐富士などの風景を見ることができます。



## 城の変遷

玉野市周辺が『児島』と呼ばれる島だった頃、常山城(第4回参照)は『吉備の穴海』と呼ばれる海を挟み岡山平野を一望できる軍事的な要衝でした。しかし、戦国時代末期から徐々に浅瀬が広がりこの穴海は航行不能となったため、海上交通路が瀬戸内海に移っていきました。このため、常山城はその役目を終え1603年に廃城となり、城郭建築物は瀬戸内水運を押さえる新たな軍事的拠点となった下津井城に移築されました。

下津井城の築城時期は不明ですが、文禄年間に宇喜多秀家が内海の要衝として既存の小城を改築して出城にしたと伝わります。宇喜多家の滅亡後、城主となった池田長政(姫路城主 池田輝政の弟)が徳川家康から内命を受けて1604～1606年に大改修を行い現在の近世城郭となったようです。しかし、大阪夏の陣以降は軍事的緊張がなくなり、一国一城令の制定を受けて1639年に廃城となり、建物は天城陣屋や正福寺などに移築されました。現在も正福寺では下津井城から移築された城門を見ることができます。

## 城の遺構

この城跡は標高90m、東西600m、南北90m、東西に長い連郭式(一直線に曲輪を配す)の平山城で、旧児島郡内では常山城跡と並ぶ最大規模の城郭遺構です。5つの曲輪(平坦な区画)で構成されており、土塁や堀切、土橋等の中世遺構を残しながらも、全ての曲輪が石垣で覆われた近世城郭となっています。

## 歴史ある港町

下津井は奈良・平安時代より潮待ちの港として文献に記され、江戸～明治時代には北前船の寄港地として栄えました。現在も漁業が盛んな港町で、名物の「下津井蛸」を使ったタコ料理を堪能できます。

## その他の見所 ～古城と台場～

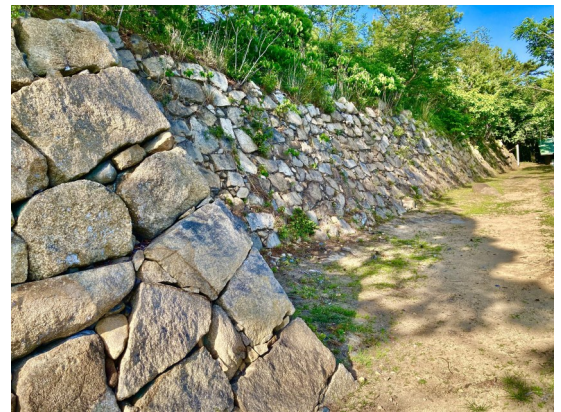
下津井城跡の南の海沿いには、足利尊氏の時代に関係すると伝わる標高20m程の下津井古城跡(下津井祇園神社)があり、古城の下には岡山藩の下津井台場跡が残ります。神社の駐車場には『釣りバカ日誌18のロケ地』の看板もありあの名作映画の撮影も行われた場所のようです。

このように見所が沢山ある下津井の港町を皆さんも訪れてみてはいかがでしょうか。次回は玉野市内に戻り向日比城跡を散策する予定です。

参考文献: 1)岡山県中世城館跡総合調査報告書 第1冊-備前編-, 2)備前児島と常山城 戦国両雄の狭間で、3)日本城郭体系13広島・岡山

(作業療法士:中島 賢介)

↑下津井城本丸跡の上空からみた瀬戸内海  
※写真中央は下津井古城



↑下津井城跡の南面 瀬戸内海側を守る石垣



←正福寺に移築された下津井城の城門



↑岡山藩が幕末につくった下津井台場の石垣



# さつま芋グラタン

秋が旬のさつま芋ですが、玉野市の特産品に『番田芋』があります。番田地区で作られている紫芋・さつま芋で、海が近いのでさらさらとした水はけのよい畑で栽培され、甘みが強く美味しい芋が作られています。



## 材料(2人分)

さつま芋か紫芋	150g
玉ねぎ	1/2個
鶏ささ身	60g
しめじ	40g
バター	20g
小麦粉	大さじ1
牛乳	200ml
コンソメのもと	小さじ1.5
ピザ用チーズ	お好みで
塩、こしょう、パン粉、パセリ	適量

## 作り方

- ①さつま芋はよく洗い、食べやすい一口大の大きさに切り、10分ほど水にさらします。そのあと水気を切って耐熱容器に移し、ふわっとラップをかけてレンジで3分ほど加熱します。
- ②玉ねぎは繊維を切るように薄切り、鶏ささ身は一口大に切ります。
- ③鍋にバターを溶かし中火で鶏ささ身を炒め、火が通ったら玉ねぎとしめじを入れて、しんなりするまで炒めます。
- ④玉ねぎがしんなりしたら小麦粉を加え、粉っぽさが無くなるまで混ぜます。次に牛乳を少しずつ加えてのばします。
- ⑤コンソメのもとと①のさつま芋を加え、塩・こしょうで味を整えたらトースターで加熱できる器に盛ります。
- ⑥ピザ用チーズとパン粉をのせて焼き色が付くまでトースターで加熱し、パセリを散らして出来上がり。

さつま芋には、腸内の環境を整える働きや便通をよくする食物繊維が含まれています。また、ビタミン類も多く含んでおり、美肌効果のあるビタミンCや、疲労回復効果のビタミンB1があります。

さらにカリウムも多く含まれており、身体のむくみ改善や高血圧の予防にも効果があります。さつま芋の栄養価は高いですが、炭水化物を豊富に含んでおり、一日に食べる量の目安は、半分から1本ほどです。さつま芋の食べすぎは太る原因にもなるため、あまり食べすぎないように気をつけましょう。



(管理栄養士:岡崎 有香)

## 地域連携だより VOL.6

7月12日に独立行政法人国立病院機構岡山医療センター主催の「地域連携の夕べ」にお招きいただきました。

玉野市民病院から、岡山医療センター前病院長の佐藤理事長、総合支援センター長を兼務する山原病院長、地域医療連携室ソーシャルワーカー平野の3名で参加させていただきました。

コロナで4年ぶりの開催とのことでしたが、当日は多くの医療機関の先生方や連携部門スタッフが参加され、お互いに懇親を深めていました。

岡山医療センターの患者支援センターは、地域医療連携室部門・入院支援部門・退院調整部門の3部門で構成されており、入院前から退院後まで切れ目のない医療・看護を提供されています。統括診療部長・患者支援センター長の太田 徹哉 先生(写真左)を中心に“断らない医療”を実践されています。

当院の地域医療連携室も「玉野に暮らす命は、玉野の地で守ります」の理念のもと、玉野での地域完結型医療を目指し、地域の病院・診療所との連携強化を図っています。岡山医療センターと比べると規模は小さいですが、山原院長を先頭に医師・看護師・事務スタッフ・ソーシャルワーカーが同じ志を持ち、スピードを武器とした小さな艦隊として日々の地域連携業務に取り組んでいます。

岡山医療センターは連携医療機関へ、「困ったら太田」のメッセージのもと、患者支援センター長の太田徹哉先生を窓口として紹介しておられます。当院の地域医療連携室も他の医療機関や介護事業所、すべての関係機関から「困ったら地連(ちれん)」として周知されるよう頑張りたいと思います。

理事長は参加された先生方だけでなく多くの職員に声をかけられ、終始席に着くことなく会場を引っ張り回されていました...(笑)。

(社会福祉士:平野 智)



玉野市民病院  
地域医療連携室

★お問い合わせ先

電話 (直通)0863-31-2252  
FAX (直通)0863-32-1950

玉野三井病院  
総合支援センター

★お問い合わせ先

電話 (直通)0863-31-4187  
FAX (直通)0863-23-2084

★受付時間 【両病院共通】

平日:8:30 ~ 17:15 (土日祝日、年末年始はお休み)

基本的にお電話での予約をお願いしております。

相談は無料。相談内容については、秘密を厳守いたします。

### 【編集後記】

Harmony第76号をお読みいただきありがとうございます。  
新病院の名称が決まりました。市民の皆様にご覧いただけた名称になったのではないかと思います。  
今後も新病院開院に向けて、職員が一丸となり進んでいきたいと思っております。